フットケア外来

糖尿病の３大合併症の中で、最も早い時期に現れるのが「神経障害」です。「神経障害」で高血糖が続くことによって、神経の働きが正常に機能しなくなることを言います。感覚が鈍くなったり、逆に敏感になりすぎることもあります。それに加えて、毛細血管の障害により血流が低下することで、手足のしびれや痛み、感覚の麻痺、立ちくらみ、下痢や便秘の繰り返し、味覚が鈍くなる、汗をかきにくくなる、内臓の不具合など全身にさまざまな症状をもたらします。

糖尿病によって高血糖状態が続くと、皮膚の感染への抵抗力も低下するので傷などを治す働きも鈍くなります。その結果、靴ずれや小さな外傷などでもそこから細菌が侵入すると感染が急速に広まってしまう危険性もあります。日常生活の中で足に気を使うことは余り多くありませんが、糖尿病があると足の手入れと異常の早期発見と早期対処が非常に重要になります。

正しい爪の切り方や足に合った靴とはどのような靴なのか、深爪にしていることでどのようなことに支障があるのかなど、フットケア外来では糖尿病足病変予防のためのケアを行っています。

- ◆ 糖尿病治療を受けている
- ◆ 目が見えにくくなってきている
- ◆ 爪が厚くなって爪切りが出来ない
- ◆ 同じ場所にタコやウオノメができて痛い
- ◆ 巻つめがあり気になる

などの症状がある方は、受診科の担当医師、看護師にご相談下さい。

【フットケア外来】
日時：水曜日（第1、2、4週）
木曜日（第1、2、4週）
9：30～12：30

※フットケア外来は完全予約制です。